

(案)

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和6年5月13日
九州地方整備局
志布志港湾事務所
※鹿児島県・志布志市同時プレス

志布志港「命のみなとネットワーク」緊急支援物資輸送訓練を実施します

大規模災害が発生し大隅地域において孤立集落が発生した場合などを想定して、“みなと”を活用した災害対応の強化を図るため、志布志市、鹿児島県及び九州地方整備局の3者で海洋環境整備船を活用した緊急支援物資輸送訓練を実施します。

記

- 日時 令和6年5月20日(月)13:00～
- 場所 志布志港若浜地区旅客船埠頭(観光船バース)
- 訓練内容
 - ①港湾施設点検
 - ②情報伝達訓練(国・地方公共団体による連絡・調整)
 - ③海煌による水深確認訓練
 - ④緊急支援物資輸送訓練
 - ・緊急支援物資を荷下ろし後、運搬車へ積み込み・避難所へ搬出
 - ・別の支援船に物資を積み込み、大隅地域の被災地に二次輸送
- 取材申込 当日の取材を希望される方は、5月17日(金)12:00までに、下記問い合わせ先までご連絡いただきますようお願い致します。

【備考】

- ・気象、海象条件等により訓練を中止する場合には、前日の5月19日(日)15:00までに最終決定しますので、その後、取材申込者に通知します。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 志布志港湾事務所 TEL : 099-472-3831
総務課長 渡邊 雅史(わたなべ まさふみ)
総務係 二宮 涼(にのみや りょう)

(案)

取材申込書

取材を希望される場合は、申込締切日までに以下の記載事項を電子メールにて送付をお願いします。

なお、取材の申込みをメールにて送付いただく際、件名を「取材申込：志布志港緊急支援物資輸送訓練」としてください。

【記載事項】

1. 報道機関名
2. 取材者
①ご氏名②ご役職③人数（複数名の場合）
3. 連絡先
①電話番号②メールアドレス

【メール送信先】

mailbox-k89d3@mlit.go.jp

申込締切：令和6年5月17日（金） 12：00 必着

【会場案内図】 志布志港旅客船埠頭（観光船バース） 5月20日（月） 受付12：00～



○大規模災害が発生し大隅地域において孤立集落が発生した場合などを想定して、“みなと”を活用した災害対応の強化を図るため、志布志市、鹿児島県及び九州地方整備局の3者で海洋環境整備船を活用した緊急支援物資輸送訓練を行います。

1. 訓練の概要

訓練名：志布志港

日程：令和6年5月20日(月)13時00分～

訓練内容

- ①港湾施設点検
- ②情報伝達訓練(国・地方公共団体による連絡・調整)
- ③海煌による水深確認訓練
- ④緊急支援物資輸送訓練
 - ・緊急支援物資を荷下ろし後、運搬車へ積み込み・避難所へ搬出
 - ・別の支援船に物資を積み込み、大隅地域の被災地に二次輸送

2. 訓練使用船舶

海洋環境整備船「海煌(かいこう)」(熊本港湾・空港整備事務所 所有)

全長35.0m 幅11.0m 総トン数195t

海洋環境整備船「海煌(かいこう)」



3. 訓練場所



→
海洋環境整備船による
支援物資輸送(想定)

→
支援船による二次輸送
※訓練では港内での
移動のみ

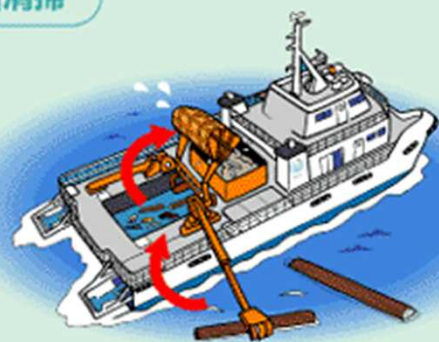
海洋環境整備船「海煌」

- ・全長 * 全幅 * 深さ: 35.0m × 11.0m × 4.1m
- ・吃水: 2.2m
- ・速力: 14.8ノット (27.4km/h)
- ・総トン数: 195t
- ・基地港: 八代港 (熊本県八代市)
- ・所属事務所: 熊本港湾・空港整備事務所

【船の概要】

有明海・八代海を管轄区域(担務海域)として巡回を行い、海上に流失した流木や葦・草などの漂流ごみの回収と定期的に水質調査、底質調査等の環境調査を行っています。

海面清掃



スキッパーに溜まった浮遊ごみを塵芥コンテナに回収します。



ゆっくり前進しながら双胴間に浮遊ごみを誘導します。

環境調査



「命のみなとネットワーク」について

- 近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
- 陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】

H30年7月豪雨時の物資輸送
(広島県中田港)

【被災者の救援輸送拠点】

【生活支援拠点】

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】

“みなと”を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的実施。



R3年10月に浜名港で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練

【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて～“みなと”を活用した災害支援事例集ver1～の作成】

“みなと”を活用した災害対応支援を行った過去事例をまとめたもの。

主な事例① 支援物資輸送拠点

○道路交通網が寸断された被災地まで、海から支援物資の緊急輸送を実施。

H30年7月豪雨(広島県 安芸郡) R元年厚岸半島台風(千葉県)



主な事例③ 被災者の代替輸送拠点

○陸上交通が寸断された地域で、海上交通により被災者の代替輸送を実施。

H30年北海道胆振東部地震(北海道)

